

芳珠記念病院の主治医による説明がない場合は無効です。無断複製、利用は禁止します。

「水分・栄養管理に対する意思表示書」について

様々な理由によって、口から必要な水分や栄養を摂ることができなくなることがあります。そのままにしておくと脱水や栄養不足となるため、手足の点滴（末梢点滴）による水分補給・栄養補給を行いつつ、検査や治療を行います。しかし、治療をしても食欲が改善しない場合や、嚥下機能の低下による誤嚥性肺炎、窒息の危険により、口からの食事を断念しなければならない場合もあります。末梢点滴にも限界があることから、そのような場合、別の方法で水分補給・栄養補給を考える必要があります。いくつかの方法が用いられていますが、それぞれに利点と欠点があること、その後の経過や生活にも影響を及ぼすことから、病状や本人の意向も合わせて決める必要があります。また、本人が意思の表明や決定ができない状況になっている場合も多いため、本人やご家族などと医療従事者が事前に相談しておくことが勧められています。

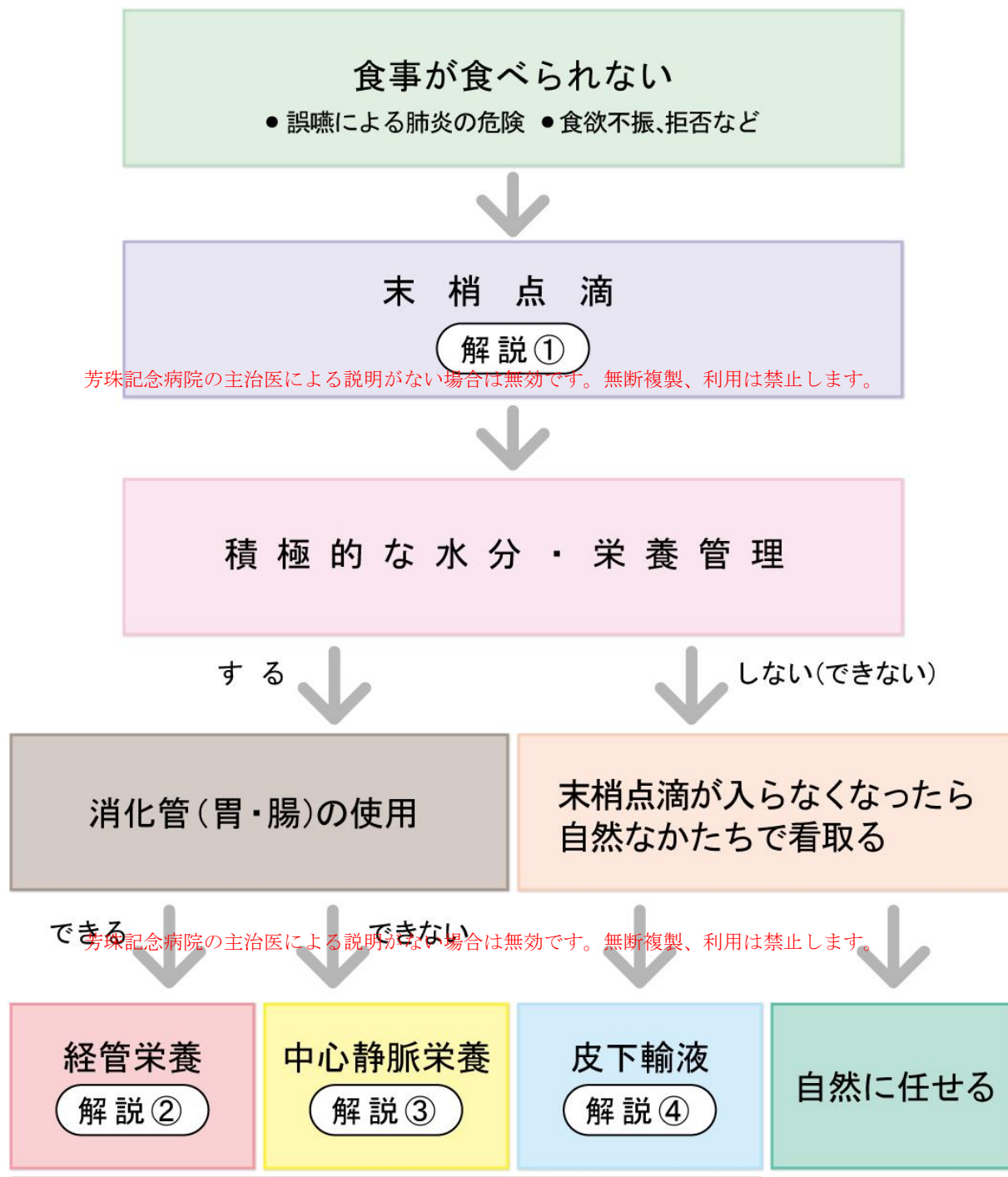
芳珠記念病院の主治医による説明がない場合は無効です。無断複製、利用は禁止します。

この「水分・栄養管理に対する意思表示書」は、口から必要な水分や栄養を摂取できなくなった場合の対応について、あらかじめ本人の意向をお聞きするための書類です。ご家族などとも相談した上で、できるだけご本人が記入してください。ご本人が記入できない場合は、代理人であるご家族などがご本人の価値観に沿って、その思いを推測して記入をお願い致します。

芳珠記念病院の主治医による説明がない場合は無効です。無断複製、利用は禁止します。

芳珠記念病院 水分・栄養管理に対する意思表示支援資料

■水分・栄養管理に関するフローチャート



解説②～④は裏面を参照

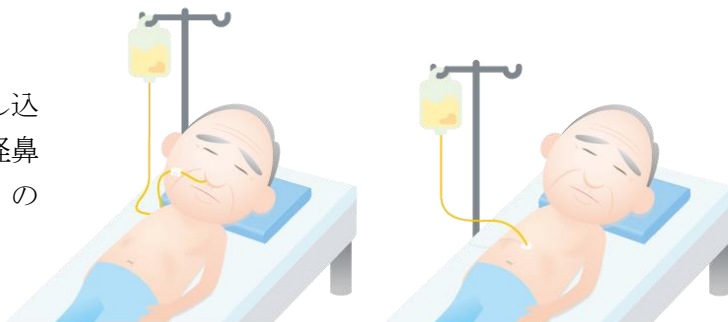
解説① 末梢点滴

手足の血管（静脈）から水分と栄養を補給する一般的な点滴です。

利点	欠点
・簡便な処置で必要な水分が投与可能である	・投与可能な栄養(カロリー)に限度がある ・長期間にわたる場合、低栄養状態となる他、点滴を入れることができる血管がなくなる

解説② 経管栄養

チューブで流動食を胃に直接流し込む方法で、チューブの挿入部位は経鼻（鼻から）と胃瘻（みぞおちから）の2種類です。



	手技	外見	不快感	入れ替え	安定性・用途	その他
経鼻	簡便	鼻にチューブ	有り	約1ヶ月ごと 誤挿入の危険	抜けやすい 短期管理向き	嚥下訓練に支障あり
胃瘻	小手術 (局所麻酔による)	みぞおちにチューブ (衣服で隠せる)	少ない	2~6ヶ月ごと	安定している 長期管理向き	食事摂取と併用可 不要になれば抜去可

利点	欠点
<ul style="list-style-type: none"> 腸から栄養が吸収されるため、生理的である場合は無効なことはない。 食事と同等の栄養が投与可能で、栄養状態の改善が期待できる 長期間の栄養管理に適している 	<ul style="list-style-type: none"> この方法が合わない場合や経過によって使用できなくなることもある(喀痰の増加、誤嚥性肺炎、下痢、嘔吐など) 胃の手術後など、状態により実施できない場合がある チューブを自ら抜いてしまう場合は手足の抑制をすることがある

解説③ 中心静脈栄養

中心静脈（太い血管）にカテーテル（プラスチック製の管）を局所麻酔で挿入し、高カロリーの点滴を実施する方法です。長期間の使用が想定される場合は、埋め込み式ポートというタイプを選択することがあります。



利点	欠点
<ul style="list-style-type: none"> 栄養(カロリー)の高い点滴が実施できる 点滴の刺激が不要なため、苦痛が軽減できる 	<ul style="list-style-type: none"> カテーテル挿入時に合併症の危険がある(気胸、血胸、出血など) 長期間になるとカテーテルから感染を起こし、治療しても重症化することが多い 栄養状態の改善にまでは至らないことが多い

解説④ 皮下輸液

皮膚の下の血管がない場所（多くの場合は腹部）に、点滴を行います。実施した部位は一時的に腫れますが、徐々に液体が吸収されて、腫れは改善します。使用できる液体は「生理食塩水」で、カロリーはなく、1日500~1000ml程度の水分補給のみ可能です。口から栄養・水分補給がない場合は、徐々に栄養失調と脱水状態になり、通常は数週間以内にほぼ自然な形で最期を迎えます。



利点	欠点
<ul style="list-style-type: none"> 意識がもうろうとするため、苦痛は少ないと思われる 自然な形での看取りが可能である 	<ul style="list-style-type: none"> 病状が改善することはない 病状によっては看取りの時期が早まる場合がある

芳珠記念病院の主治医による説明がない場合は無効です。無断複製、利用は禁止します。

水分・栄養管理に対する意思表示書

意思表示書の内容は、いつでも変更することができます。その都度、話し合いの機会を持たせていただきますので、遠慮なくご相談ください。

説明日付： _____ 年 _____ 月 _____ 日

説明者（医師自署）： _____

同席者： _____

芳珠記念病院の主治医による説明がない場合は無効です。無断複製、利用は禁止します。

患者ID： _____

患者氏名： _____

口から栄養や水分が摂取できなくなった場合の水分・栄養管理について、ご希望の内容を以下から選択してください。

① 経管栄養（ 経鼻 ・ 胃瘻 ）

② 中心静脈栄養

③ 皮下輸液

④ その他：

芳珠記念病院の主治医による説明がない場合は無効です。無断複製、利用は禁止します。

上記の様に希望します。

記載日付： _____ 年 _____ 月 _____ 日

本人氏名： _____

（※本人の意思表示が困難な場合）本人の価値観に沿って上記のように希望します。

記載日付： _____ 年 _____ 月 _____ 日

代理人氏名： _____

（ご関係： _____ ）

芳珠記念病院の主治医による説明がない場合は無効です。無断複製、利用は禁止します。